

学 校 教 育 計 画

項目		目標および計画	
(1)	A 学習活動 <i>教科指導計画</i> 重点1 ①②	目標	教科の学習における生徒の「実態」を的確に捉え、自主性を喚起しながら、成長段階に対応した確実な学力を身につけさせ、一人ひとりの優れた能力・適性の伸長をはかる。
		計画	○学年と教科が連携し、平日及び休日の学習量・学習内容の充実を図る。
			○予習・授業・復習の学習サイクルを機軸とした 主体的な学習習慣の定着 を図る。
			○学習生活実態調査等による個々の生徒の実態を把握・分析し、教師間の共有を図る。
○面接等をとおして、望ましい学習習慣が定着するよう指導・改善を促す。			
(2)	B 学校生活 <i>生徒指導計画</i> 重点2 ⑤	目標	生徒が主体的に判断し積極的に行動できる力を養うとともに、社会性・道徳性を高める。
		計画	○日常のあらゆる場面で、生徒との触れ合いを通じて、観察と指導の機会を積極的にもつとともに、計画的に個人面接を行なう。
			○健康に留意し、規則正しい生活を送る習慣を身につけさせ、 遅刻 、早退、 欠席 を減らす。
			○担任・学年や 教育支援部 や 保健厚生部と連携 しながら、個に応じた指導を進める。
	○交通ルール・交通マナーが遵守されるように、特に自転車の安全運転について重点的に指導し、事故の防止を徹底する。		
	<i>保健管理指導計画</i> 重点2 ⑧	目標	生徒一人ひとりが健康・体力の保持増進に努め、自主的かつ積極的に健康管理ができるよう意識の向上と習慣・態度の育成を図る。
		計画	○健康の保持増進を図るために日頃の健康管理と定期的な受診の必要性を訴える。
			○教科指導やHR等をとおして、 規則正しい生活・食事・睡眠 が健康生活の基盤であることを理解させ、実践させる。
<i>教育支援計画</i> 重点2 ⑨		目標	生徒の自己理解を促し、人間のあり方や対人関係の心構えに関する基本的な考え方を身につけさせる。
	計画	○教員・保護者が連携して生徒の現状把握に努め、心身に問題を抱える生徒を早期に発見し援助する。	
		○ 生徒対象の教育支援講演会 あるいは ワークショップ を計画的に実施し、人間関係のトラブルやストレスに自ら対処できるスキルを身につけられるよう支援する。	
(3)	C 進路支援 <i>進路指導計画</i> 重点3 ⑥	目標	生徒一人ひとりが望ましい人生設計ができるよう、個性・学力を伸ばし、主体的に進路を選択・決定する能力を育成する。
		計画	○ キャリア講座・進路講演会の実施 やホームルームでの進路学習、学年による進路面談などをとおして、 早期に進路目標を確立 させる。
			○ 系統的、計画的なキャリア教育の一層の充実 をはかり、生徒一人ひとりの進路意識を明確にすることで各自の進路志望の実現を援助する。

(4)	D 特別活動 特別活動指導計画	目標	教科指導と特別活動との連携を密にし、普段の教育活動の成果が、総合的・創造的に発揮されるように努める。また、生徒の自主的な活動を促し、協力と責任遂行の重要性を認識させるとともに、豊かで充実した内容となるよう工夫を図る。	
		重点4 ④	計画	○学校行事の内容の充実を図り、 生徒一人ひとりが満足感と達成感を得る ことができるよう工夫する。 ○生徒が積極的に企画・運営し、 意欲的に参加 するよう、自主的な活動の育成を図る。
			目標	学習活動に役立つ豊富な資料を整備するとともに、生徒一人ひとりの人間形成に資する良好な読書習慣を身につけさせ、読書意欲を高めるための機会を提供する。
		重点4 ⑦	計画	○読書推進、広報活動、教養講座、読書会などの生徒図書委員会の諸活動が、主体的・創造的に運営されるようにし、その活動を核として一般生徒の 読書に対する興味関心を高め、図書利用を促進 する。 ○図書館運営委員会の協議に基づき、各学年・各教科との連携をはかりながら、購入図書の精選と充実を努め、 各教科等の発展的学習での活用 に役立つようにする。
目標	科学的思考力や探究力などを身につけさせること。			
(5)	E その他 科学教育の推進	計画	○各教科や総合的な学習の時間において、課題解決的な学習等を計画的に取り入れ、 科学的な思考力や探究力、課題解決能力の育成 をはかる。 ○ 課題解決的な学習を意欲的に取り組む ことができるよう工夫する。	
		目標	むつみ会(PTA)主催の委員会や講演会の内容を充実し、保護者と学校との連携を図り保護者の本校に対する理解を深める。	
	重点2 ⑤	計画	○ むつみ会主催の講演会を計画的に実施 し、その内容の充実と保護者への周知徹底を図る。	
		重点3 ⑥	○むつみ会委員会(PTA)の出席率を高める工夫を、PTA役員と協議し推進する。	
	学年経営計画	目標	安定した生活習慣の確立をめざし、高校生活を充実したものとする。 生徒一人ひとりが自分に適したより高い進路目標を設定し、その達成に向けて意欲的な学習を実践できるよう支援・指導する。	
		重点1 ②	計画	○ 予習・授業・復習の学習習慣の確立 に努める。
重点2 ⑤			○ 安易な欠席・遅刻をしない よう指導する。	
重点3 ⑥	○ 自己の将来像の実現に向けた早期の取り組み を促す。			